

○年度 家庭支援の計画

2歳児 ○○組 園児名( )

担当者( )

子どもの現状		家庭の現状			
<ul style="list-style-type: none"> <li>言葉の獲得が遅く、理解もゆっくりである。</li> <li>自分の荷物をかばんから出したり自分のタオルを掛けたりするなど、簡単な身の回りのことなどを自分からやろうとすることがない。</li> <li>友達や保育者の動きをよく見ている。また、アリなどの虫の動きを見ることが好き。</li> <li>夜は23時以降に就寝していることが多く、朝、なかなか起きられないため、園を欠席することがある。</li> <li>朝食を取れていないことが多い。</li> <li>家ではおむつを使っており、排泄の自立はまだである。</li> <li><u>近隣の公園などへ1人で行くこともあり、道路への飛び出し等の心配がある。(7/28)</u></li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>★要保護児童対策地域協議会管理ケース</li> <li>母は自身が適切な養育を受けた経験が少ないためか、子どもを養育することが難しい面がある。</li> <li>本児が1人で夜うろうろしていたことから、一度通報があり、保健師も定期的に訪問している。</li> <li>母親は本児を迎えに来た後、夜、仕事に出ており、生活リズムが不規則になりやすい。</li> <li>父親の仕事は不定期であり、時々父親が園に子どもを迎えにくる。</li> <li>夕食は父親が買ってくるか、小学生の姉に買ってくるように頼み、それを食べていることが多い様子。(保健師からの情報)</li> </ul>			
	<p>第1期(4月～6月)</p> <p>【子】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>新しい環境・担任・友達になれて、毎日、登園し安心して過ごす。</li> </ul> <p>【親】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>子どもの家の様子などを話せる関係になる。</li> <li>子どもを22時までに寝させようとする。</li> </ul>	<p>第2期(7月～9月)</p> <p>【子】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>おしめを替えてもらったり、パンツで過ごしたりするときの心地よさを感じる。</li> <li>朝食を食べる。</li> </ul> <p>【親】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>(困っていることを話せる)</li> </ul>	<p>第3期(10月～12月)</p> <p>【子】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>毎日登園し、保育者と話すことを楽しむ。</li> </ul> <p>【親】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>母親が困っていることを具体的に保育者に相談し、父親の協力を得られるように話し合いをする。</li> <li>9時までには登園できるよう準備する。</li> </ul>	<p>第4期(1月～3月)</p>	
<p>目指す子どもの姿</p>	<p>【子】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>園に来てくれてうれしいことを伝えたり、声掛けしたりする。(全職員)</li> <li>朝、来ていないときは登園支援をする。(主任)</li> </ul> <p>【親】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>担当を決め、挨拶や雑談等を積極的に行い、得た情報で必要なことは園長・担任と情報共有する。(主任)</li> </ul>	<p>【子】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>家でおしめが替えられていないときは、シャワーでおしりを流し、「気持ちいいね」等の声掛けを積極的にしていく。</li> <li>(担任)</li> <li>朝食を食べていないときは、落ち着いた雰囲気の中で、持参したパンを食べさせる。(主任)</li> </ul> <p>【親】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>パンを持たせてくれる母の気持ちを労うとともに、おしりが気持ちよかったり、夜早く寝、朝ごはんを食べたりすると、子どもが落ち着いていることや、頑張っていることなどを伝える。(担任)</li> <li>22時には家で布団を敷いて、本児が眠る環境をつくるようにしてほしいことを頼む。(主任・園長)</li> </ul>	<p>【子】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>言葉遊びやゆったりとした関わり、やり取りを続ける。(担任・主任)</li> <li>園での昼寝の時間を、一対一で関わる時間にし、睡眠時間を調節する。(主任)</li> </ul> <p>【親】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>母の思いを聴く時間を取る。(担任・主任・園長)</li> <li><u>園で睡眠時間を調節することを提案し、家ではどんなことができそうかを母親と父親と一緒に考える。(主任・園長)(11/3)</u></li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>関係機関から得た情報や連携についても記入しておくとうい。</li> <li>目指す姿に向けて具体的に、誰がどのような支援をするのかを記入する。</li> <li>乳児は個別の指導計画には書いていない支援や、園全体で共有し、支援することなどを記載する。</li> <li>途中で、修正も可能。<u>途中修正(下線部)</u>は、追記した日付を入れておくとうい。</li> </ul>	
<p>(手立て・場)</p> <p>支援の計画</p>	<p>【子】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>登園支援により、休むことなく登園することができつつある。</li> <li>園や担任になれ、笑顔が見られる場面が増えてきた。</li> <li>▲生活リズム(就寝時間の遅さ)が乱れがちで、朝、寝起きも悪く、登園準備に時間がかかる。</li> </ul> <p>【親】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▲母親の帰りが遅いことや、父親が遅くまでゲーム等をして起きており、早く寝ることがなかなかできない。</li> <li>朝、子どもが起きづらいことにイライラし、きつく怒っていることを母親が話してくれるようになる。</li> </ul>	<p>【子】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>うまくいかないときもあるが、尿意を感じることができるようになり、ソワソワしたり、保育者に目で見えるようになった。</li> </ul> <p>【親】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▲朝はパンをもたせてくれている。22時に布団を敷いてくれているが、寝ないこともあり、朝、子どもが起きないときはそのまましておくこともある。</li> </ul>	<p>【子】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>うまくいかないときもあるが、尿意を感じることができるようになり、ソワソワしたり、保育者に目で見えるようになった。</li> </ul> <p>【親】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▲朝はパンをもたせてくれている。22時に布団を敷いてくれているが、寝ないこともあり、朝、子どもが起きないときはそのまましておくこともある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>残された課題として出てきたことが、次の期の目指す子どもの姿、保護者の姿に反映されるようにする。</li> </ul>	
<p>(子ども・評価・反省)</p> <p>支援を振り返る</p>	<p>【子】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>生活リズムの影響もあるのか、身の回りのことをしようとする意欲がなく受け身が多い。</li> </ul> <p>【親】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>子どものおしめが替えられていないことがある。</li> </ul>	<p>【子】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>23時を過ぎて、寝ることがまだ多い。</li> <li>一人で、夜、近隣住民宅辺りをうろうろしていると近所からの連絡が市町村にあった。</li> </ul> <p>【親】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>母親は、夫に不満をもっており、「イライラを子どもにもぶつけることもある」と主任に話す。</li> </ul>	<p>【子】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>23時を過ぎて、寝ることがまだ多い。</li> <li>一人で、夜、近隣住民宅辺りをうろうろしていると近所からの連絡が市町村にあった。</li> </ul> <p>【親】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>母親は、夫に不満をもっており、「イライラを子どもにもぶつけることもある」と主任に話す。</li> </ul>		
<p>残された課題</p>					

○年度 家庭支援の計画

5歳児 ○○組 園児名( )

担当者( )

子どもの現状		家庭の現状			
<ul style="list-style-type: none"> <li>時々排泄の失敗があるが恥ずかしさも出てきているため、本児が分かっていると言わないことがある。</li> <li>スキップや動いているボールを蹴るなど、複雑な動きが難しいが、一対一で向かい合うと、簡単な相手の動きの模倣はできる。</li> <li>友達のことが好きで、自ら話しかけたり遊びに加わろうとしたりする。</li> <li>次にどのような行動を取るのか等の見通しが難しく、困ったときには動かなくなる。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>4歳児1月から、本園に入園。離婚して父はおらず、母親が朝早く働きに出るため、朝は祖母が連れてくることが多い。また、1週間のうち2日、昼から22時まで一日中働く日があり、その日は祖母が本児を迎えにき、祖父母宅で過ごしている。</li> <li>近所にすむ祖父母が協力してくれており、日々の生活が成り立っている。</li> <li>「子どもの泣き声が聞こえると通報があった」との連絡が市町村から来る。(7/7)</li> <li>7月祖母の入院により、協力が得にくい状態。→(8月に退院)(7/14)</li> </ul>			
		第1期(4月~6月)	第2期(7月~9月)	第3期(10月~12月)	第4期(1月~3月)
目指す子どもの姿・保護者の姿	<p>【子】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>新しい担任に安心して関わり、困ったときには困っているサインが出せる。</li> <li>排泄の失敗が少なくなる。</li> </ul> <p>【親】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>新しい家庭支援と話ができる関係になる。</li> </ul>	<p>【子】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>言葉で保育者や友達に思ったことを伝えようとする。</li> <li>今日の流れを知り、自分から動こうとしている。</li> </ul> <p>【親】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>母親が困ったことを園長や家庭支援に話せる。</li> <li>子どものことを話す場が増える。</li> </ul>	<p>【子】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>安心できる時間や場所がある。</li> </ul> <p>【親】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>就学前のことを意識し、相談する場所が増える。</li> </ul>	<p>【子】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>自分から友達に思いを伝えている。</li> </ul> <p>【親】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>園で相談しながら、就学に必要な手続き等を進めていく。</li> <li>小学校就学に向けての意識をもち、家庭で行うことなど園と話ができる。</li> </ul>	
	(手立て・場)	<p>【子】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>本児の好きなしっぽ取りゲームなどで一緒に遊び、周囲の子どもに誘いの声をかける。(担任・家庭支援)</li> <li>担任と本児で困ったことがあったときのサインを決める。(鉄棒の場所に行く)</li> <li>排泄の失敗に本児が気付いたときは、自分でこっそり着替えに行けるスペースをつくる。</li> </ul> <p>【親】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>前年度から母と関係が続いている園長が、お迎えの際には母や祖母に声をかける。</li> <li>本児の園での様子や好きなこと、頑張っていることを伝える。(家庭支援)</li> </ul>	<p>【子】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>何に困っているかを言い当て、言葉での言い方を伝える。</li> <li>生活の流れが分かるように、それぞれの場所ですること次どうするかを絵で提示しておく。</li> <li>友達のまねをするなどの遊びを取り入れる。</li> </ul> <p>【親】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>本児のことで困っていることがないかを訪ね、そのようなどきどうしているかなど、家での様子を尋ねる。祖母からも情報を得る。(家庭支援・園長)</li> <li>全職員で声をかけ、本児の様子をさりげなく伝えたり、母親の頑張っているところを褒める。</li> </ul>	<p>【子】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>跳んだり、しゃがんだり、隠れたりする運動遊びを一緒にする。(家庭支援)</li> <li>視覚的に見て分かる生活の流れを、見るところに貼っておき、分からなくなったら見に行くように声をかける。(担任)</li> <li>静かに落ち着けるスペースをつくる。(家庭支援)</li> </ul> <p>【親】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>母親の大変さを感じているであろうことを言葉にし、尋ねてみる。(家庭支援・園長)</li> <li>園での子どもへの関わり方と様子を伝え、安心感をもってもらえるようにする。(担任)</li> <li>就学前のことなど、相談(スクールソーシャルワーカー)を受けてみることをもちかける。(家庭支援)</li> </ul>	<p>【子】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>本児の好きなものについて一緒に調べたり、同じものが好きな友達と一緒に先生に尋ねてみたりする。</li> <li>次の行動を自分で判断して動いたときは認め、一年生にむけての意識付けをしていく。</li> </ul> <p>【親】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>家の中で腹が立つであろうと思うような本児の姿を想像し、母親の大変さを労うとともに、小学校に向けて母親が不安に思っていること等を教えてもらう。(家庭支援・園長)</li> <li>小学校に向けて園でしていることなどを伝え、これから一緒に取り組んでいきたいことなどを話し合う時間をもつ。(担任・家庭支援・園長)</li> <li>小学校と保護者の状況や現在している支援、入学して予想されることなどについて協議を行う。</li> </ul>
(子ども・評価・反省)	<p>【子】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>サインが出たときはそばに行き、話を聞くことで、自分の気持ちを話してくれるようになった。</li> <li>排泄に失敗したときは、自分でこっそりと着替えに行く姿が見られるようになった。</li> </ul> <p>【親】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>こちらからの声かけは機嫌良く応じ、家での子ども様子も話してくれる。排泄については家ではほとんど失敗はないという。</li> </ul>	<p>【子】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>絵で示しているものを自分で見て、行動しようとする姿が見られるようになった。</li> <li>まねっこ遊びを友達と楽しんで行う中で、止まったボールを蹴るなどはできるようになってきた。</li> <li>時々、言葉で保育者に気持ちを言いはじめた。</li> </ul> <p>【親】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>母親は園長以外でも子どものことを伝えるとこやかに伝える姿が見られるようになった。</li> <li>▲本児のことで困っていることは言わない。</li> </ul>	<p>【子】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>様々な動きを楽しんで行うようになり、運動会も友達を見ながら踊りを踊るなど、本人の力を発揮していた。</li> <li>排泄の失敗はほとんど見られなくなった。</li> <li>時々、静かな場所で毛布にくるまっている様子が見られた。</li> </ul> <p>【親】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>母親が家庭支援に子どもへのいらだちを少しずつ話してくるようになった。気持ちを受け止めながら、どうすればいらだちを子どもにぶつけずにすむかなどを一緒に考えている。(スクールソーシャルワーカーと面談)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>幼児については、子どもの姿から、本児の発達課題に対する支援を考え、支援計画に記入する。</li> <li>5歳児の場合は、小学校との連携についても、支援の計画に記入しておくことよい。</li> <li>途中で、修正も可能。<u>途中修正(下線部)</u>は、追記した日付を入れておくことよい。</li> </ul>	
残された課題	<p>【子】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>困ったときにサインは出せるようになったが、保育者の仲立ちにより、気持ちを引き出すことがまだ必要。</li> <li>行動の切り替えが難しい。</li> </ul> <p>【親】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>母親はこちらの言うことにはこやかに応えるが、母親自身の困りごとなどを話す関係づくりがまだできていない。母親との関係は園長と家庭支援が引き続きつづけていく。</li> </ul>	<p>【子】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>祖母の入院や母親の通報の関係か、昼寝前などに落ち着かない様子が見られた。</li> <li>遊んだ後や食べた後の片付けなどに取りかかることが難しい。</li> <li>排泄の失敗が以前より、少し増えている。</li> </ul> <p>【親】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>家から、子どもの泣き声がしていると市に通報があった。本児が言うことをきかないことや、祖母の助けが得られにくくなっていることで余裕がなくなっていること考えられるが、母親から、困っていることを口にすることはまだない。</li> </ul>	<p>【子】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>自分から友達を遊びに誘う姿は見られるようになったが、自分が困ったときの気持ちを伝えるときは、保育者とともに言うことが必要。</li> <li>今は、周囲の友達の動きを見ながら、自分で次のことをしていることが多い。</li> </ul> <p>【親】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>腹が立ったときは、気持ちを抑えることが難しい。(母親からの話)</li> </ul>		